

教科目名 情報処理 I（Information processing I）

学科名・学年：機械工学科 2 年

単位数など：必修 1 単位（後期 1 コマ，学習保証時間 22.5 時間）

担当教員：徳安達士

授業の概要			
情報技術の普及と高度化により，産業界は著しい発展を遂げてきました．現在の機械工学者においても情報処理技術は不可欠なものとなっています．情報処理 I，II では，C 言語を通じてプログラミングの基本を学び，情報処理の基礎能力を養います．			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (B2)
(1) プログラムファイルの作成・保存，コンパイル，実行の方法について理解できる．（定期試験と課題演習） (2) C 言語プログラミングにおける基本的知識を身に付ける．（定期試験と課題演習） (3) 条件文や繰り返し文などの制御構造文の使い方を身に付ける．（定期試験と課題演習） (4) 目的に応じたプログラミング能力を身に付ける．（定期試験と課題演習）			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	情報処理ガイダンス	○ガイダンスを通して情報の概念について理解する．	【理解の度合い】
2	コンピュータの利用説明	○テキストエディタやメールの使い方について理解する．	
3	データの型と変数の宣言	○printf 関数，scanf 関数を理解する	
4	文字と数値データの入出力	○整数型，実数型，倍精度実数型変数について理解する．	
5	複雑な数式計算の記述方法	○入力した数値に対して平方根や対数計算を行う．	
6	演算子と論理演算子	○真偽の成立について理解し，制御構文の分岐について理解する．	
7	条件文		
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9	後期中間試験の解答と解説	○自身の理解力を分析し，理解していなかった部分を認識し，理解する．	【理解の度合い】
10	繰り返し for 文	○for 文と while 文などの繰り返し制御構文の基本と応用力を身に付ける．	
11	繰り返し while 文		
12	多重ループ	○無限ループ作成方法と脱出のメカニズムについて理解する．	
13	配列	○配列の意味について理解する．	
14	多次元配列		【試験の点数】 点
15	後期期末試験		
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		・新しい言葉を覚えていくような感覚です．授業の復習がとても大切になってきますので，わからないところを翌週まで持ち越さないように心がけましょう． ・課題はすべてメールで提出してもらいます．他学生のコピーはすぐにはれるので自力で解決する習慣を身につけましょう．	【総合達成度】
教科書		柴田望洋，新版 明解 C 言語 入門編 ソフトバンククリエイティブ株式会社	
参考図書		なし	
関連科目		情報処理 II，情報工学	
総合評価		達成目標の(1)～(4)について，2 回の試験と課題で評価する． 定期試験の成績(80%)およびレポート・課題の提出(20%)により評価する． 再試験は，課題を期限内に 80%提出していることと，2 度のテストの平均点が 40 点以上の学生を対象に実施する．	【総合評価】 点